

# 令和3年度学びチャレンジリーディングスクール実施報告書(2年次)

学校名	北九州市立千代小学校	校長名	谷口 幹夫
教科等名	A 教科( ) <b>B 複数教科</b> C 補充学習	学級数	19学級
研究の実際	<p>○ 研究主題  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">考えを深め・広げ・課題解決につなぐ教科等の取組</span></p> <p>○ 研究のねらい            学級の支持的風土をつくる「学級力」の取組を基盤として、学習指導要領に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりの工夫を行うことで、児童の、思考力・判断力・表現力、実践力・行動力、協調性や人間関係力等、多様な資質・能力の育成を目指す。</p> <p>○ 取組の概要            ① 考えを深め、広げる学びを具現化する授業改善  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【課題設定の工夫】</span></p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">児童の実態に応じた課題にしたり、提示方法を工夫したりする。多くの児童が主体的に学習に取り組めるようにした。</p> <p><b>【学習展開の工夫】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">友達と話し合う場面を意図的に仕組む。事前に個人思考の時間をとり、自分の考えと比べながら友達の考えを聞くことができるようにした。</p>		

## 【話し合い活動をコーディネートする教師の工夫】

### 【話し合い活動をコーディネートする教師の工夫の具体】

#### 目指す児童の姿

友達の意見を認め、自分の考えと比べながら聞くことで、様々な読み方があることに気付き、自分の考えを伝えようとする児童の姿

<例>

C:自分は最初、ごんの思いが兵十に伝わっていると思っていましたが、Aさんの〇〇という意見を聞いて、伝わっていないという意見に変わりました。

C:同じ文でも、伝わっているという意見と、伝わっていないという意見があることに気がきました。

#### 意見が偏っている場合

少人数の意見に目を向けさせたり、反対側の立場の意見について問いかけたりする。

T:〇〇という意見についてはどうですか？

話し合いにおいて予想される児童の発言や、その発言を生かしてどう深めていくかを事前にしっかりと考えておく。教師の揺さぶる、つなげる、まとめる言葉かけ等を通して、より考えを深めたり、広げたりすることができるようにした。

## ② 広げる・つなげる対話力の育成

### 【発達段階に応じた聞き方・話し方指導の充実】

#### ・ 聞くスキル

低学年	中学年	高学年
話す人に体を向けて聞く	—————→	
最後までだまって聞く	大切なこと（5W1H）を落とさずに聞く（メモをとる）	事実と意見を区別しながら聞く（メモをとる）
どんな内容かを考えながら聞く（「なるほど」、頷く等）	自分の考えと比べながら聞く（反応を示す）	話し手の意図をとらえ、自分の考えと比べながら聞く
わからないことは質問する（「もう一度言って」等）	どこがわからないかを具体的に聞く	

#### ・ 話すスキル

低学年	中学年	高学年
聞き手に体を向けて話す	—————→	
聞き手の聞きやすい声で話す（声の大きさ、速さ等）	—————→	
その場にあった話し方で話す（声の大きさ、ていねい語）	—————→	相手や場に応じた内容や言葉づかいで話す
順序よく話す	つなぎ言葉をつかって話す	効果的な表現を用いて話す（引用、例示等）
理由をつけて話す	構成を工夫して話す	必要な資料等を選び、示しながら話す
	資料を指し示しながら話す（絵や図等）	
	大切なこと（5W1H）を落とさずに話す	

学校全体で、「聞く・話す」スキルの共通認識をもち、普段から指導に当たる。

## ③ 支持的風土のある学級づくり

### 【パワーアップタイムの充実】

### 【学級力アンケートの活用】

学習の基盤である「学級力」を高める取組を継続して行った。週に1回、朝自習等の時間を活用して、児童の協働性を育む取組（パワーアップタイム）を行った。また、定期的に学級力アンケートを実施し、結果をまとめたレーダーチャートを見ながら話し合うことで支持的風土の学級づくりに努めた。

次年度に向けて

#### ○ 課題

- ① 「目指す子どもの姿」を明確にし、手立てを精選する。
- ② 「目指す子どもの姿」に近づけるよう、指導と評価の一体化を目指す。

#### ○ 次年度の方向性

- ① 課題①②を解決し、考えを深め・広げ・課題解決につなぐ学習を目指す。
- ② 児童用タブレット等、更なるICTの活用を図る。